

2023 年 10 月 12 日 (木)

株式会社ボーネルンド

子どもの発達と「あそび道具」の活用を考える実践型ワークショップ 「ボーネルンド 子どもの発達とあそび学びラボ」

～第 1 回 多様で豊かな感覚運動～

11 月 11 日 (土) ボーネルンドあそびのせかいマークイズみなとみらい店にて開催

「あそび」を通して子どもの健やかな成長に貢献することを目的に、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売と遊び環境開発を行う株式会社ボーネルンド（本社：東京都渋谷区、取締役社長：中西みのり）は、あそびの専門企業としてこれまで培った知見を活かして、明星大学教育学部教授 星山麻木先生との共催で、あそび道具の教具としての役割について考えるワークショップ「第 1 回 ボーネルンド 子どもの発達とあそび学びラボ」を、11 月 11 日（土）にマークイズみなとみらい店にて開催します。



サイバーホイール



ボブルス



しわくちゃボール



40 年以上のあそびの知見をもとに、子どもの発達と道具の活用を考えるワークショップを開催

子どもの多様性を重んじ、一人ひとりの個性を尊重する対応が必要とされる昨今、教育現場の方々は、子どもの成長や発達により真摯に向き合って接することが求められています。もっと子どもの内面や発達について理解したい、具体的な遊び方やあそび道具の活用についても知りたい、という教育関係者の声もよく聞かれます。こうした中で、子どもの成長や発達、それらに必要なあそびへの理解を深めることの重要性も高まっています。



ボーネルンドは、設立から 42 年間、「あそびの専門企業」として、世界の教育玩具の輸入販売やあそび場の開発・運営を通して、子どもの成長と発達に関する知見や親子の声を蓄えてきました。こうした知見を活かし、子どもの発達やあそびについて理解を深めるきっかけを作りたいとの思いから、当社あそび場にて教育関係者向けと保護者向けの「発達サポーター育成講座」を 2020 年 4 月より星山麻木先生をお招きして計 5 クール開催し、小中学校教職員・幼稚園教諭・保育士、子育て中の保護者など、のべ 135 名に受講いただきました。

今回は、子どもたち一人ひとりが自信をもって能動的にあそびや学びに取り組むことができるインクルーシブなあそび環境の実現に向けて、あそび道具を使ったワークショップを開催します。第 1 回は「多様で豊かな感覚運動」をテーマに、少人数のグループに分かれて、回転運動を促す「サイバーホイール」や、多様な動きを生み出す「ボブルス」、「しわくちゃボール」を実際に体験。具体的な使用方法を参加者同士で意見交換し、教具となるあそび道具の有効性の理解を深めます。星山麻木先生とボーネルンド社長中西みのりが、教育や保育現場、コミュニティの場における悩みや課題を共有し、あそび道具の教具としての活用方法や子どもたちとの関わり方・環境について参加者とともに考えます。

セミナー詳細・お申込み (Peatix) : <https://development-play-labo.peatix.com>

「第1回 ボーネルンド 子どもの発達とあそび学びラボ」概要

日 時 : 2023 年 11 月 11 日 (土) 18:00~20:30 頃
場 所 : ボーネルンドあそびのせかい マークイズみなとみらい店 (神奈川県横浜市)
対 象 者 : 教育保育に携わる方 (教員、保育士、幼稚園教諭など)、子育て支援に携わる方など
参 加 費 : 4,400 円 (税込)
定 員 : 40 名 ※先着順。定員になり次第、受付を終了します。
内 容 : 発達や教具 (あそび道具) についての説明のあと、グループに分かれて教具を研究し、最後に各グループで考えた案を発表し合います。参加者同士で語り合いながら、新たなあそびや教具の有効性を学び合います。
申込方法 : チケット販売サイト「Peatix」にて、事前チケット購入
U R L : <https://development-play-labo.peatix.com>

詳細 (Peatix サイト)



「第1回 ボーネルンド 子どもの発達とあそび学びラボ」登壇者情報

< 明星大学教育学部教授 星山麻木 先生 >

東京大学大学院医学系研究科 (母子保健学) 博士課程修了。保健学博士。日本音楽療法学会認定音楽療法士。一般社団法人こども家族早期発達支援学会会長、星と虹色な子どもたち代表。乳幼児の特別支援や母親のための支援プログラム開発、音楽療法、特別支援教育などをテーマに、療育センターや各種教育機関にてセッションや授業を実践。NHKE テレ「すくすく子育て」や「ウワサの保護者会」、「発達障害の子どもたちとともに」に監修出演。



< ボーネルンド社長 中西みのり >

1992 年に渡英し、INCHBALD SCHOOL OF DESIGN、AA SCHOOL 他でインテリアデザインやマーケティングを学び、1999 年にボーネルンド入社。マーケティング、商品、企画・設計・デザイン部門の統括を経て、2023 年 4 月より取締役社長に就任。当社のあそび場「キドキド」や「プレイヴィル」のほか、東京ドームシティ「ASOBono! (アソポーノ)」、東日本大震災をきっかけに生まれた福島県「ベップキッズこおりやま」など、全国各地のあそび場を企画・プロデュース。世界各国の遊具メーカーを訪問し、商品開発にも携わっている。



【 ボーネルンドについて 】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため 1981 年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国 58 ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などで、高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約 3 万 5 千ヶ所まで拡大しています。また、2004 年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタートし、現在では「プレイヴィル」「PLAYLOT」を含む直営のあそび場 全国 21 ヶ所、年間約 200 万人以上の親子にご利用いただいています。さらに「キドキド」のノウハウを取り入れた自治体のあそび場を全国に 70 ヶ所以上開発し、街の活性化にも寄与しています。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーネルンド 広報部
担当：西山、村上
TEL : 03-5785-0860、080-9868-7091
e-mail public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先 (ご掲載用)】

株式会社ボーネルンド
TEL: 0120-358-518 (月～金 10:00～17:00)